

総務省からのお知らせ

「若者フォーラム2024 選挙に行きたくなる-1グランプリ」を開催しました！

総務省では、若者に政治や選挙への関心をもってもらうため、令和7年2月28日(金)に若者フォーラムを開催しました。

今年度は、「若者フォーラム2024 選挙に行きたくなる-1グランプリ」と題し、お笑い芸人の陣内智則さん、ボーイズグループINIの後藤威尊さん、立命館宇治中学校・高等学校教諭の杉浦真理さん等にご出演いただき、これまで選挙に関心のなかった方にも少しでも選挙の大切さを知ってもらえるようなイベントを実施しました。

なお、本イベントは後日アーカイブ配信を予定しておりますので是非ご視聴ください。



▶総務省HP

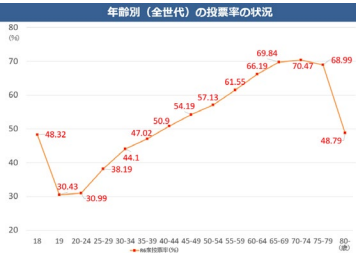


第50回衆議院議員総選挙年齢別投票者数調（抽出調査）について

第50回衆議院議員総選挙における、年齢別投票者数調（抽出調査）について、総務省HP内に掲載しました。

全国の投票区の中から、188投票区（47都道府県×4投票区）を抽出し、調査したものです。

詳細は、右記のQRコードを読み取り、ご確認ください。



▶総務省HP



「女性の政治参画マップ2024」が公開されています（内閣府）

「女性の政治参画マップ2024」が更新されました。地方の政治分野における都道府県ごとの女性の参画状況（知事、市区町村長、都道府県議会の長及び議員、市区町村議会の長及び議員）について、マップでご覧いただけます。選挙出前授業等の際に、ご活用ください。



▼HP



～主権者教育アドバイザー紹介～

主権者教育アドバイザー 大隅 哲平（元松山市選挙管理委員会事務局 主査）

＜選管向けの講演を得意としています！＞

私は、平成25～30年度まで選挙管理委員会に所属しており、全国初となる大学期日前投票所の設置のほか、学生スタッフ「選挙コンシェルジュ」の創設、地元NPOなどと連携しての啓発業務等に携わりました。

全国の選管の皆さんにとって、主権者教育・選挙時啓発に割く人手・時間・予算の不足は、共通の悩みだと思います。

1月24日に坂出市で行われました全選連四国支部事務職員研修会の講演では、「周りをいかに巻き込んでいくか」に主眼を置き、選管の資源不足を補いながら効果的な啓発手法を探る方法をお伝えしました。

よりよい施策展開のお力になれるよう全国どこにでも馳せ参じます。どうぞお声がけください。



～明るい選挙推進協会からのお知らせ～

「情報誌VotersNo.84」を発行しました

特集テーマは「地方議会による主権者教育」です。学校や選管・明推協だけではなく、地方議会においても主権者教育が取り組まれています。それぞれの特性を横断的に連携・協力することによって更に生かしていくことも考えられます。今後の主権者教育（授業内容）を検討する際の参考としてください。

協会のホームページにはPDF版も掲載しております。

また、次号（85号）は、当協会が3月に行う全国フォーラムの報告を特集内容とし、5月末に発行する予定です。令和6年度のフォーラムでは、投票率向上のための取組みの一つとして「全国の明推協による一斉行動」等をテーマに話し合うこととしています。実現に向けて、どのような意見、アイデアが出たのかを紹介いたします。

【問合せ先】（公財）明るい選挙推進協会Tel：03-6380-9891

